

日独電力・原子力専門家会合 プログラム

日時：平成16年4月26日(月) 27日(火)(2日間)

場所：名古屋東急ホテル 4階会議場「雅」

〒460-0008 愛知県名古屋市栄4-6-8 TEL:052-251-2411 FAX:052-251-2422

主催：電気事業連合会、(社)日本原子力産業会議

4月26日(月)

9:00- 9:30 **開会セッション**

日独共同議長挨拶

9:30-12:00 **セッション1「最近の原子力動向」**

最近の原子力開発をめぐる政治的、社会的な問題について、日独両国からそれぞれ発表を行う。さらに、欧州全体におけるエネルギー・原子力発電動向についても発表を行い、意見交換を行う。

12:00-13:30 昼食

13:30-15:00 **セッション2「電力自由化と原子力」**

ドイツからは、原子力発電の経済競争力の維持など、電力自由化がもたらした様々な課題と対応について発表する。日本からは、来たるべき電力自由化の下での原子力開発における課題等について発表し、意見交換を行う。

15:00-15:15 コーヒーブレイク

15:15-17:00 **セッション3「原子力開発の再活性化への過程」**

原子力プロジェクト後退を余儀なくされているドイツ、および東京電力の自主点検データ記載の不正発覚などの不祥事により、国民の原子力発電の安全に対する信頼が著しく損なわれた日本において、原子力開発を再活性化させるための努力について紹介し、意見交換を行う。

4月27日(火)

9:00-11:30 **セッション4「再処理とバックエンド問題」**

日本からは、六ヶ所村の再処理工場の建設が最終段階を向え、その経済性や回収されたプルトニウムの利用見通しなどが議論されている中、これらバックエンド事業の概要、さらに高レベル廃棄物処分計画などについて発表する。ドイツからはウラン濃縮、再処理を含むバックエンド対策などについて発表し、意見交換を行う。

11:30-13:00 昼食

13:00-15:15 **セッション5「人材問題と将来技術」**

日独両国共通の課題である、将来の原子力施設の運転管理や保守あるいは技術開発を担う次世代の人材確保および技術の継承等について発表、議論を行う。また、そのような状況の中で将来に向けて開発中の有望技術について発表し、大学、研究機関の果たす役割および国際協力などについて議論する。

15:15-15:30 コーヒーブレイク

15:30-16:30 **総括セッション**

日独の共同議長がこれまでのセッションにおける議論を整理し、その中からさらに議論を深めるべき論点を選びだして自由な討論を行い、2日間のサマリーをとりまとめる。

17:00-17:30 **記者会見**（4階「栄」）

以上